

べト病レース1～7抵抗性  
 極濃緑で光沢があり厚みのある中間葉  
 耐暑性、晩抽性を備え、春夏秋三季蒔きが可能

# NX-SP112 ホウレンソウ



## ～品種特性と栽培のポイント～

近年べト病レース1～7抵抗性品種の開発が急速に進んでいますが、従来の品種と比べて耐病性は向上しているのに、収量性が伴っていないという声が各地で出ています。レース1～7抵抗性品種が本格的に使われ始めた5年前と比較して、品種の使い分けが細かくなっている原因のひとつにこの収量性の低下が挙げられます。

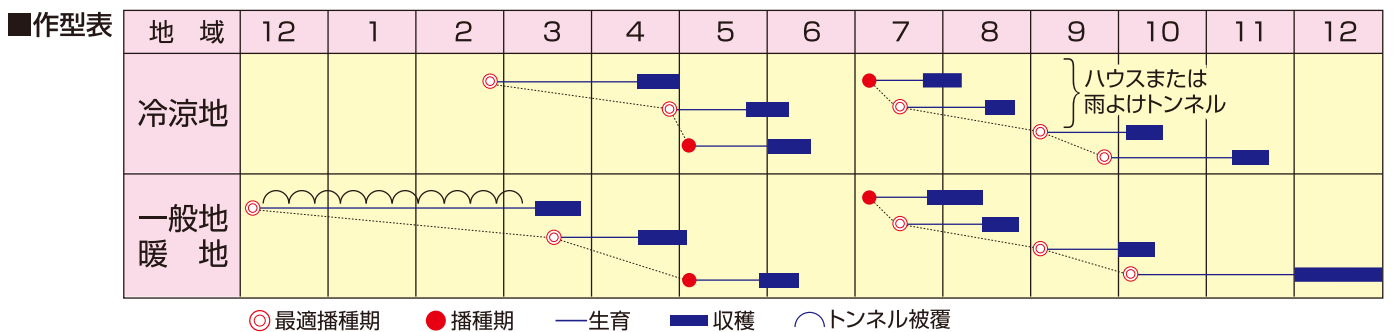
弊社ではその点に着目し、耐病性はもちろん収量性をも兼ね備えた「NX-SP112」を開発いたしました。光沢があり極濃緑の葉色で市場性が高く、また、耐暑性と晩抽性を備えているために播種期の幅が一段と広がることも「NX-SP112」の魅力です。



対象品種 **NX-SP112**  
 7月中旬蒔きハウス雨よけ栽培  
 岩手県西根地区



**NX-SP112** 対象品種  
 7月上旬蒔きハウス雨よけ栽培  
 岩手県西根地区



### 栽培の注意点

- ① 極晩抽性品種ではありませんので6月～7月上旬蒔きでは抽苔する恐れがあるので避けてください。5月蒔きも天候およびホウレンソウの栄養状態によって抽苔する危険もあるので、小規模で何度かお試しのうえご使用ください。
- ② 萎凋病に対して耐病性をもっておりますが、連作圃場においては条件（高温、高菌密度）によっては発病する恐れがあります。作柄を安定させるために、萎凋病の発生が激しい圃場では予め土壤消毒等の対策をとることをおすすめします。
- ③ 「NX-SP112」は高温条件下でも生育が停滞せずにスムーズに生育する品種ですが、極端な乾燥は生育を停滞させますので、生育中期に適宜灌水を行ってください。